

増税1年の首都圏

2014年4月の消費増税からまもなく1年。駆け込み需要の反動減に苦しんだ首都圏の住宅メーカーや自動車販売店が反転攻勢に出始めた。住宅メーカーは新商品の投入やモデルハウスの新設で契約棟数の上積みを狙う。輸入車販売店は店舗改装で来店増につなげる。

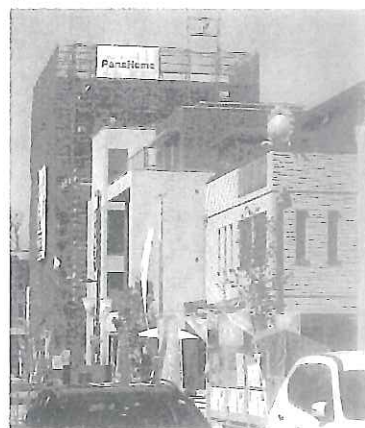
緩む逆風消費つかめ

超高額物件、都心で完売

住宅

「夢の大口力、天空リビングのある住まい」

パナホームは4月25日、東京・新宿の住宅展示場に戸建て住宅の6階建てモデルハウスを開く。プレハブ住宅のモデル



パナホームは東京・新宿の住宅展示場でひととき高いモデルハウスを建設中(興)

ルハウスとして6階建ては全国初で、投資額は約1億7千万円に及ぶ。地価が上昇する都心は土地活用の効率化が求められており、今後、多層階の戸建て住宅需要は拡大すると判断。いち早くアピールする。

反転攻勢に出るのは、地場の住宅会社も同じだ。ネクストワンインターナショナル(千葉市)は10月、木更津市にモデルハウスを新設する。遠藤一平社長は「空前の低金利を追い風に年明けからモデルハウスへの来場者は増えている」とい

輸入車販売なお苦戦

自動車

首都圏1都3県の新車販売台数(軽自動車を除く)は2月で前年比12%減の7万626台と、昨



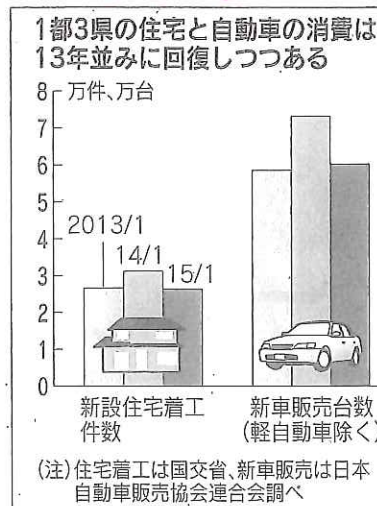
横浜トヨペットの販売店への来店客は増加傾向にある(横浜市内の店舗)

年4月以降前年割れが続いている。ただ、横浜トヨペット(横浜市)は「新車種の発売効果もあって足元の来店客数は増加傾向にある」と話す。

同社を中心とするウエインズグループは独フォルクスワーゲン(VW)

増税の影響が徐々に和らいでいるようだ。一方、藤島建設(埼玉県川口市)が3月に発売したのは、子どもが独立した世帯を想定した小型の戸建て住宅。広さを愛えられる寝室など、ゆとりたいた空間が特徴で、約80平方メートルの敷地に建てられる。価格は1350万円(消費税別)から。

佐藤善之社長は「50歳代より年上からの反響が目立つ」と話す。マンション販売では富裕層向けの高額物件が好調な一方、中価格帯の販売は苦戦している。三井不動産の「パークマンション三田綱町ザフォレスト」(東京都港区)は最高価格帯は3億円台という超高額物件だが、14年



車を取り扱う新店舗「VW二俣川」(横浜市旭区)を今年1月にオープン。輸入車市場で東京に次ぐ規模がある神奈川県内の開拓を進める。

田市にも開設する計画だ。富裕層が購入する高級車を除くと、輸入車の販売は苦戦している。多くのブランドをそろえた店舗で幅広い顧客層にアプローチする。埼玉県内の自動車ディーラーは20万件以上の顧客情報を活用し、芋掘りやパス釣り、プロ野球観

7月の発売から約半年で97戸が完売した。住宅ローン控除の拡充や低金利を追い風に、都心や湾岸部の物件の人氣が高い。一方、中小デベロッパが供給する郊外型マンションは苦戦を強いられている。増税後も主な購入層である会社員の実質賃金が上がらず、住宅購入に充てる資金が確保できないためだ。不動産調査会社の東京カンテイ(東京・品川)によると、郊外ではコスト高で建築予算も上がっているため、中小デベロッパは地方の中核都市に軸足を移しつつある。

ホテル・百貨店

客室単価戻る 宝飾など回復

ホテル椿山荘東京(文京区)などを運営する藤田観光は「増税後は一時的に宴会需要が反動で少し減ったが、その後は企業業績の回復で盛り返してきた」。国内外の観光客らの宿泊も旺盛で、客室単価はリーマン・ショック前に戻りつつあるという。

「この1年間、増税や食材高騰による値上げで宴会需要は減少したが、外国人客の宿泊の好調でカバーしている」と話すのは、ホテル「ハイアットトリージェンシー東京」(新宿区)の担当者だ。足元の宿泊稼働率は約90%と高く、特にタイなど東南アジアからの客が続きと訪れる。レストランでも料理のコース内容

バス乗車券、1千円幾内

る4月8日から、1.5倍の117便に増やす。

ピー・トランセは東日本旅客鉄道(JR東日

大井競馬場 座席数、4分の3に集約

席のた